
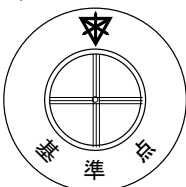
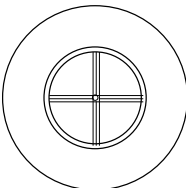




(参考1)


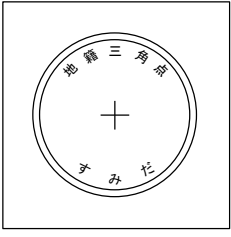


# 基準点の金属標の種類及び埋標型式

## 1 基準点の種類

### (1) 金属標

図	目的及び材質、形状	標示する場所	
<p>(名称) 多角点</p> 	<p>(目的) 境界における多角点を標示する。</p> <p>(材質) プラス鋳 特殊鋼熱処理済品 袴 アルミ合金品</p>	<p>道路区域内に設置することを原則とする。</p> <p>やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地に設置できる。</p>	
<p>(名称) 基準点</p> 	<p>(形状) プラス鋳 D 2 0 mm × L 1 0 0 mm 袴 D 4 7 mm × H 7 mm</p>		
<p>(名称) 普通 (文字なし)</p> 			
<p>(名称) 地籍多角点</p>  <p>(名称) 節点・補助点</p> 	<p>(目的) 境界における多角点を標示する。</p> <p>(材質) プラス鋳 特殊鋼熱処理済品 袴 アルミ合金品</p> <p>(形状) プラス鋳 D 2 0 mm × L 1 0 0 mm 袴 D 4 7 mm × H 7 mm D 5 0 mm × H 9 mm</p> <p>(材質) プラス鋳 特殊鋼熱処理済品 袴 アルミ合金品</p> <p>形状 プラス鋳 D15mm × L55mm 袴 D40mm × H6mm</p>	<p>地籍調査完了箇所の区有地に設置することを原則とする。</p> <p>やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地に設置できる。</p>	

(2) 地上埋標


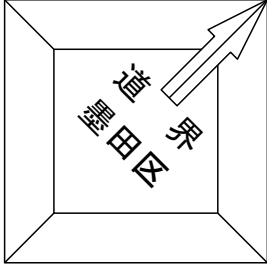
図	目的及び材質、形状	標示する場所	
<p>(名称) 地籍多角点</p> 	<p>(目的) 境界における多角点を標示する。</p> <p>(材質) プラス鋳 特殊銅熱処理済品 袴 アルミ合金品 柱石 コンクリート</p> <p>(形状) プラス鋳 D20mm×L100mm 袴 D47mm×H7mm D50mm×H9mm 柱石 100mm×100mm×600mm</p>	<p>地籍調査完了箇所の区有地に設置することを原則とする。</p> <p>やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地に設置できる。</p>	
<p>(名称) 地籍図根三角点</p>   <p>(名称) 街区三角点</p>   <p>(名称) 街区多角点</p> 	<p>(目的) 境界における多角点を標示する。</p> <p>(材質) 標識 真鍮 柱石 コンクリート</p> <p>(形状) 標識 D8mm×L50mm 袴 D80mm×H12mm 柱石 120mm×120mm×900mm</p> <p>(材質) 標識 真鍮 柱石 コンクリート</p> <p>(形状) 標識 D75mm×L90mm 柱石 L400mmの円筒形</p> <p>(材質) 標識 真鍮 柱石 コンクリート</p> <p>(形状) 標識 D50mm×L70mm 柱石 L400mmの円筒形</p>		

(参考2)

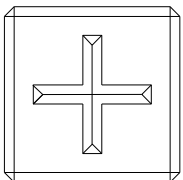
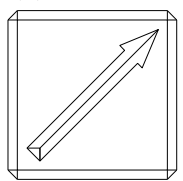
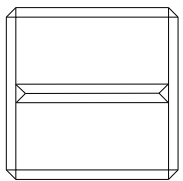
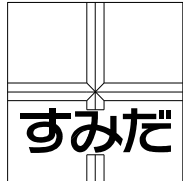
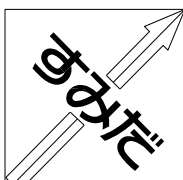
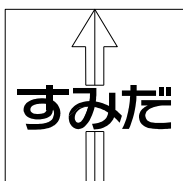
# 境界点の金属標の種類及び埋標型式

## 1 境界点の種類

### (1) 金属標

図	目的及び材質、形状	標示する場所	
<p>(名称) 墨田区紋章入り鋳</p> 	<p>(目的) 現地の状況等でコンクリート境界石が入らない場合にコンクリート境界石の代わりに所有権の境界点を標示する。また、所有権の境界が協議決定するまでの間仮境界点として標示する。</p> <p>(材質) 特殊鋼熱処理済品</p> <p>(形状) D 19 mm × L 55 mm</p>	<p>区有地に設置することを原則とする。 やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地に設置できる。</p>	
<p>(名称) 道界明示板</p> 	<p>(目的) 道路法による区域を標示する。</p> <p>(材質) アンカー 真鍮 プレート アルミ合金</p> <p>(形状) アンカー D 8 mm × L 50 mm プレート 50 mm × 50 mm</p>	<p>道路区域内に設置することを原則とする。 やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地に設置できる。</p>	

(2) 地上埋標



図	目的及び材質、形状	標示する場所	
<p>(名称) コンクリート境界石 (石標) 種類 (平面図) 十字杭</p>  <p>隅矢印杭</p>  <p>中央杭</p> 	<p>(目的) 所有権の境界点を標示する。</p> <p>(材質) 鉄筋コンクリート</p> <p>(形状) 120mm×120mm×600mm</p>	<p>区有地に設置することを原則とする。 やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地に設置できる。</p>	
<p>(名称) コンクリート境界石 種類 (平面図) 十字杭</p>  <p>隅矢印杭</p>  <p>中央矢印杭</p> 	<p>(目的) 所有権の境界点を標示する。</p> <p>(材質) 鉄筋コンクリート頭部 铸铁品</p> <p>(形状) 100mm×100mm×600mm</p>		

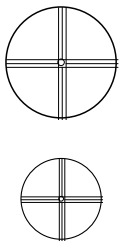

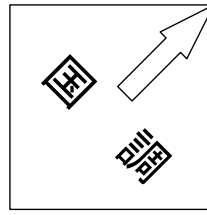
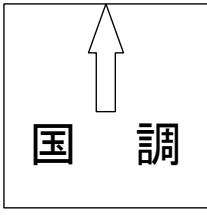
(参考3)

# その他の金属標の種類及び埋標型式

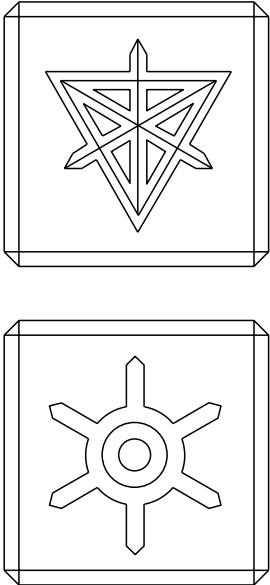
## 1 その他の種類

### (1) 金属標

図	目的及び材質、形状	標示する場所	
<p>(名称) 中心点</p> 	<p>(目的) 震災・戦災の復元線の街区中心点に標示する。</p>	<p>区有地に設置することを原則とする。 道路境界線及び道路境界予定線の中心に設置する。</p>	
<p>(名称) 安全快適</p> 	<p>(目的) 建築基準法の42条2項道路の中心位置を標示する。</p> <p>(材質) プラス鋳 特殊鋼熱処理済品 袴 アルミ合金品</p> <p>(形状) プラス鋳 D15mm×L75mm 袴 D4.5mm×H7mm</p>	<p>建築主事の指示する位置に設置することを原則とする。</p>	

<p>(名称) 鉾</p> 	<p>(目的) 道路の中心及び境界における基準点を標示する。</p> <p>(材質) プラス鉾</p> <p>(形状) プラス鉾 D 20 mm × L 100 mm D 15 mm × L 75 mm</p>	<p>区有地に設置することを原則とする。</p> <p>道路境界線及び道路境界予定線の中心及び境界における基準点等として設置する。</p>	
<p>(名称) 国調プレート</p> <p>種類 (平面図) 十字プレート</p>  <p>隅矢印プレート</p>  <p>中央矢印プレート</p> 			

(2) 地上埋標

図	目的及び材質、形状	標示する場所	
<p>(名称) コンクリート境界石 (石標)</p> <p>種類 (平面図) 財務杭</p> 	<p>(目的) 所有権の境界点を標示する。</p> <p>(材質) 鉄筋コンクリート</p> <p>(形状) 120mm×120mm×600mm</p>	<p>標示する場所</p> <p>区有地に設置することを原則とする。 やむを得ない場合は土地所有者等の承諾を得て民有地にも設置する。</p>	